

令和3年度

当初予算

↓問合せ 財政課 ☎274-8513

令和3年度の一般会計と特別会計および企業会計の当初予算が、3月3日から開催された市議会の審議を経て可決されましたので、概要をお知らせします。

前年度当初予算と比較すると、5億6,079万円の増額となりました。

継続事業として取り組んでいるリニア中央新幹線建設事業に伴う都市公園(中央市総合防災公園)の整備や、広域避難計画の策定など災害に強いまちづくりを進めるとともに、主要幹線道路路網の整備を図りつつ、今年度は子育て支援総合拠点施設の整備や玉穂B&G海洋センターの大規模改修に着手していきます。

また、市内の土地を取得して工場等を設置した企業などに投資経費の一部を助成する産業立地助成事業や、児童生徒一人1台パソコンの環境が整ったことからICTを利用した授業を推進するための経費など、雇用機会の拡大や教育環境のICT化などのソフト面にも重点を置いた予算編成となりました。

一般会計・特別会計

会 計	当初予算	対前年度比較増減額
一般会計	138億68万円	5億6,079万円
特別会計		
国民健康保険特別会計	31億9,512万円	△3,819万円
後期高齢者医療特別会計	3億1,290万円	379万円
介護保険特別会計	20億8,159万円	△1億2,462万円
地域包括支援センター特別会計	1,750万円	241万円
田富よし原処理センター事業特別会計	8,410万円	△1,500万円

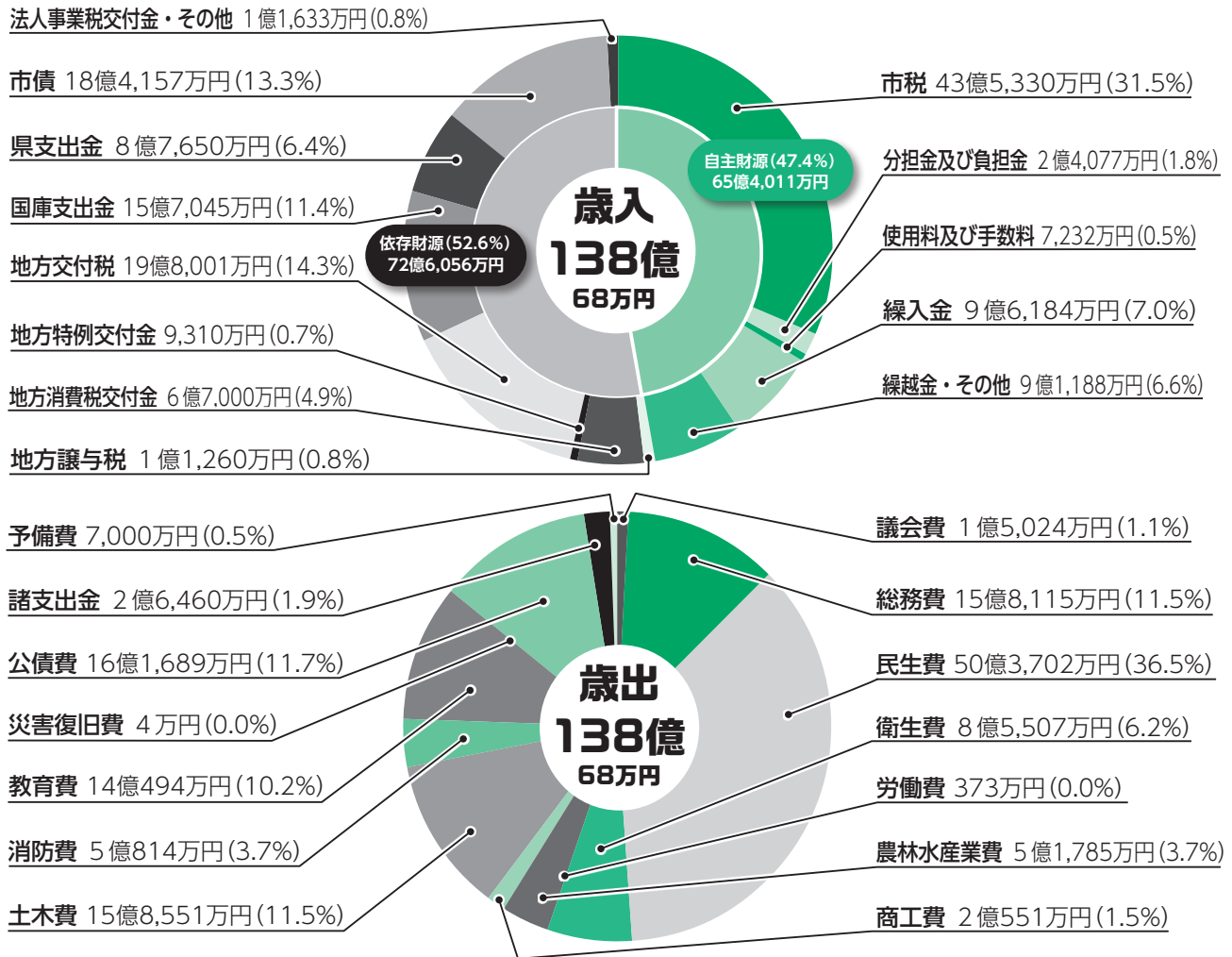


※グラフや表の数値は1万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

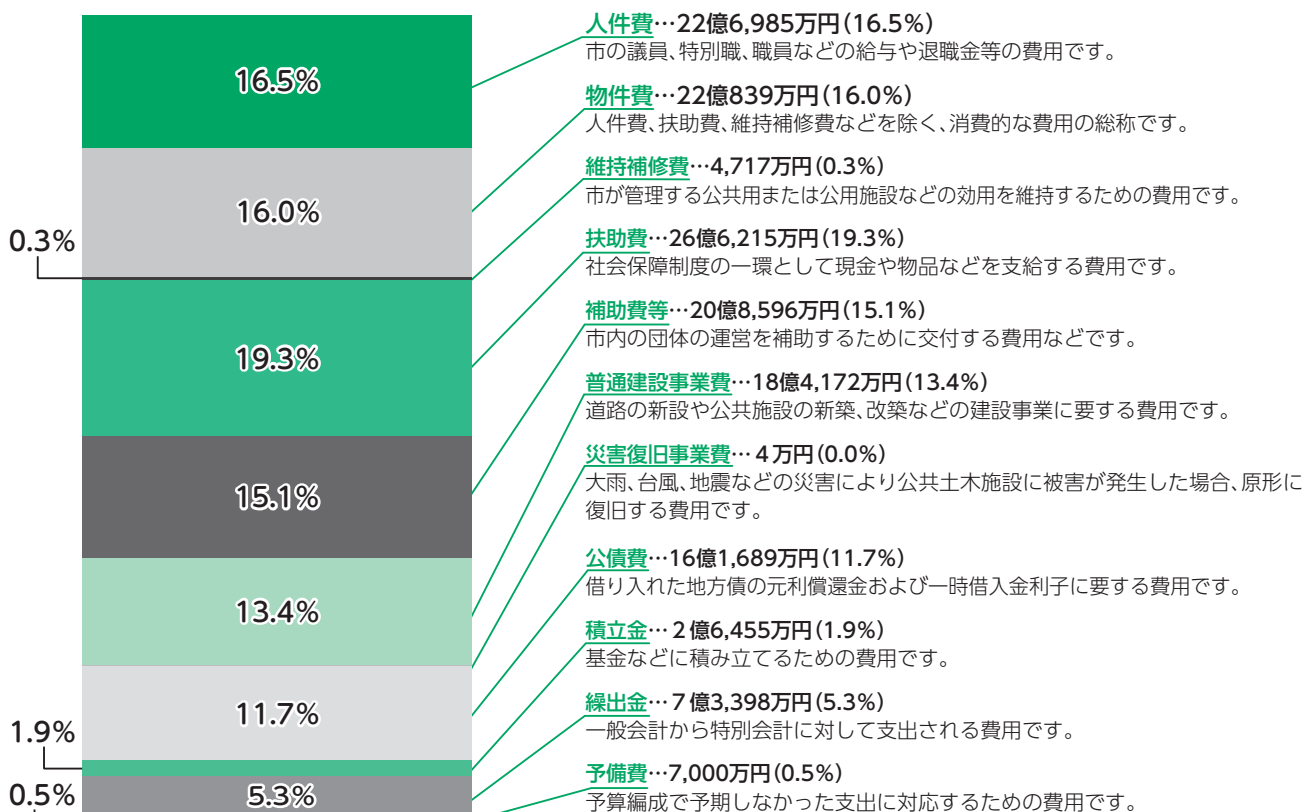
企業会計

会計	区 分		予算額	対前年度比較増減額
上水道事業	収益的収支	収入	2億8,894万円	△498万円
		支出	2億6,771万円	△490万円
	資本的収支	収入	1億30万円	△5,070万円
		支出	3億5,365万円	△6,107万円
簡易水道事業	収益的収支	収入	1億3,722万円	696万円
		支出	1億8,068万円	△335万円
	資本的収支	収入	5,250万円	△1億850万円
		支出	1億191万円	355万円
会計	区 分		予算額	対前年度比較増減額
公共下水道事業	収益的収支	収入	7億9,684万円	△975万円
		支出	7億9,684万円	△975万円
	資本的収支	収入	6億9,178万円	△9,497万円
		支出	8億631万円	△7,560万円
農業集落排水事業	収益的収支	収入	2億4,758万円	△1,318万円
		支出	2億4,758万円	△1,318万円
	資本的収支	収入	1億976万円	570万円
		支出	1億4,278万円	716万円

一般会計 歳入・歳出グラフ



一般会計 歳出 性質別グラフ (構成比)



令和3年度



当初予算の 主な事業と使い道

定住促進

■若者世帯定住奨励金事業…3,000万円

総合戦略事業の1つとして、子育て世帯の移住定住を促進し、人口減少に歯止めをかけることを目的として、市内に住宅を取得する一定の条件を満たす若者世帯を対象に奨励金を交付します。



防災対策

■各種防災計画策定事業…1,525万円

災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、国土強靱化計画に基づいた中央市強靱化地域計画の策定および大規模水害の発生時における広域避難計画を策定します。

産業振興

■産業立地助成事業…1億242万円

新たに市内において土地を取得して工場等を設置し、操業を開始した企業などに投資経費の一部を助成することで雇用機会の拡大を図り、市内経済の活性化を目的としています。

■中央市シルク工芸館ふれあい館等管理運営事業…5,375万円

安全に施設を利用できるように豊富郷土資料館およびシルクふれんどりの老朽化した設備の修繕やシルクの里公園のふわふわドームの修繕を行います。

農林水産業費
16,724円



労働費
120円



衛生費
27,615円



民生費
162,673円



総務費
51,064円



議会費
4,852円



令和3年度一般会計予算を
市民一人あたりに換算すると

445,701円

(1円未満切り捨て)

※人口30,964人で計算
(令和3年1月末日現在)

都市整備

■田富玉穂大津線道路整備事業…7,401万円

市内東西を結ぶアクセス道路が限られているため、本線未整備区間の延伸による道路整備事業を実施し、市内の道路交通網の強化を図ります。

■都市公園建設事業…3億3,686万円

リニア中央新幹線建設に伴い新たな都市公園を整備します。現公園と同等の効用を確保し、災害時の救助・復旧の拠点および応急仮設住宅などの避難拠点として利用できる総合防災公園として整備します。

子育て・教育

■小中学校ICT教育環境推進事業…3,246万円

教育用ソフトを導入し、授業で使う児童生徒一人1台パソコンの利活用を促進します。また、学校におけるICT機器の利用などをサポートする支援員の派遣を行い、ICT教育の推進を図ります。



■子育て支援総合拠点施設整備事業…4億2,560万円

旧玉穂庁舎を改修し、子育て支援センターと児童館機能を備えた子育て支援総合拠点施設を整備します。地域の子育て機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援します。

東京2020オリンピックに向けて

■東京2020オリンピック関連事業…127万円

6月26日に本市を通過予定の聖火リレーに係る経費を計上しています。また、本市出身の平野美宇選手を応援するため、応援グッズを作成しパブリックビューイングを実施する予定です。

予備費
2,261円



諸支出金
8,545円



公債費
52,218円



災害復旧費
1円



教育費
45,373円



消防費
16,411円



土木費
51,205円



商工費
6,637円

